

成長を支えるコーポレートの取り組み / イノベーション戦略

[研究開発・知財戦略説明会](#)

▶ イネープリングテクノロジーの開発によるサステナブルな成長の実現

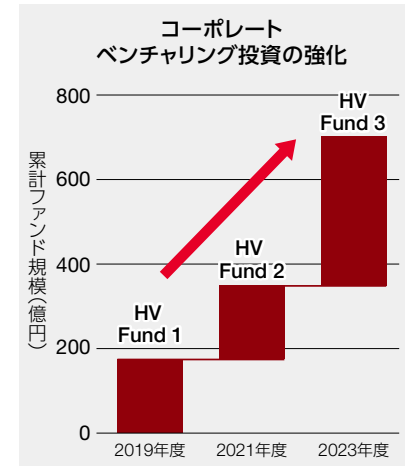
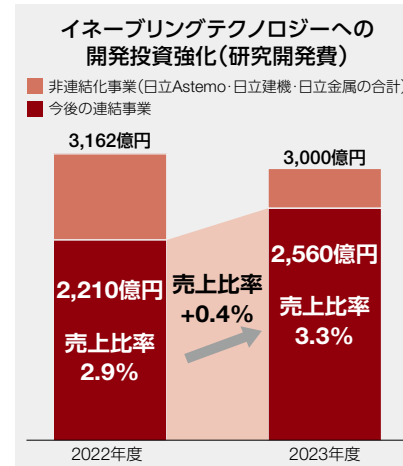
「社会の本質的課題を捉えたイノベーション」と「顧客体験を革新するイノベーション」を実現するイネープリングテクノロジーの開発により、各セクターのOne Hitachiによる顧客協創力の発揮を強力にサポートすることで、サステナブルな事業成長を実現します。

具体的には、技術潮流を見据えた「バックキャスト型」の研究開発により将来のLumadaソリューションを開発します。[日立独自の顧客協創方法論「NEXPERIENCE」](#) によって各セクターとお客さまの協創を支援します。また、Hitachi Venturesのスタートアップ投資により、生成AIをはじめとする先端技術や将来の技術を日立の成長に取り込むことで、社会やお客さまの課題を解決します。

加えて、お客さまの求める価値に基づく「価値起点」の知財ポートフォリオを技術潮流や競合他社の特許分析を踏まえて戦略的に構築し、イネープリングテクノロジーの保護につなげます。また、お客さまや関連分野へのLumadaソリューションの展開に必要な特許の取得により各セクターのLumada事業の拡大をグローバルにサポートします。



オープンイノベーション拠点「協創の森」



▶ 社会の本質課題を捉えたイノベーション

社会の課題・変化を捉え、バックキャストによりLumadaソリューションを提供すべき市場・事業におけるイノベーションを創生します。2050年に向けて解決すべき社会課題と捉えた「環境中立社会」「現役100年社会」「デジタルと人・社会の共通化」について、スタートアップ企業への投資や先進的な研究機関・大学との共同研究により、お客さまの将来の経営課題解決につなげます。例えば「デジタルと人・社会との共進化」に向けて、人間の知的活動を生成AIで支援し、活動の効率を上げていくイノベーション創生に取り組んでおり、「HV Fund」の第3号ファンドも設立しています。

▶ 顧客体験を革新するイノベーション

お客さまの次の経営課題の解決に向けて、お客さまと各セクターのイノベーションの協創を支援することで、事業成長をサポートします。日立のデザイナーと研究者が培ってきたノウハウを体系化した「NEXPERIENCE」を社会課題にも用いることで、社会・お客さまの変化の「きざし」を捉えて、お客さまの次なる成長の姿とともに描きます。各セクターとも連携のもと、顧客体験を革新するデジタルサービスを開発します。また、オープンイノベーション拠点である「Lumada Innovation Hub Tokyo」 や「協創の森」 を活用し、グローバルな顧客協創を通じてLumada事業の拡大を支援していきます。

▶ イノベーションを支える知的財産戦略

価値起点でグローバルな知財戦略・ポートフォリオを立案・実行し、事業の成長戦略を支援します。Chief Intellectual Property Officerのもと、買収企業を含めた海外グループ会社との連携を強化し、日立グループ内での知財ポートフォリオの利用を推進することでLumada事業の拡大を支えるとともに、各地での知財活動の知見をグローバルに共有し、イノベーションにつなげます。

また、事業部門と連携し、グループ戦略に基づいて、知財ポートフォリオを構築しています。例えば、バックキャスト型の研究開発による将来のLumadaソリューションでは、適切な知財ポートフォリオ構築のため、戦略的に特許をグローバルに出願するほか、機密情報や技術を保護するための施策を実施しています。